

中国新聞

ハウジングNews

土曜版

最新の新築&中古住宅情報掲載 週末のマイホーム探しは本紙のチェックから!



◀2階に大きなテラスを設け、ブラインドを切りながら通風と採光性を高めた



▶2階から取り込んだ風は吹き抜けを介して1階リビングに流れるよう配慮

優人舎(ゆうじんしゃ)一級建築士事務所

宮本 正崇さん

呉市の住宅密集地に建てた木造2階建ての事例では、2階に設けた約12畳のテラスから取り込んだ風が、吹き抜け階段を通して1階リビングに流れていくように設計。さわやかな風と光が降り注ぐ住まいになりました。

(談)

●問い合わせ 同事務所 ☎0823(38)7797

さわやか 風の通り道を

家族が毎日をおおらかな気持ちで暮らせる快適な家をデザインしたい。そのためにこだわっているのが、風の取り込み方です。住まいの通風性を高めるには、単に窓を多く備え付けただけの効果はなく、室内に風の流れをつくる必要があります。

例えば、敷地などの条件を調べ、風を最も取り込みやすい個所に、風の「入り口」となる窓を、反対側の壁には「出口」となる窓を設けることで、風の通路ができます。また、敷地中央に中庭を設け、凹型に住居を配置すると、中庭に入

った風が窓や壁に反射して流れが生まれるため、上手に窓を設ければ、室内に風を行き渡らせやすくなります。



住クリエイター

96

＜略歴＞みやもと・まさたか 1971年三原市生まれ。近畿大工学部建築学科を卒業後、呉市内の設計会社に勤務。2006年に独立し、同市に事務所を設立。人に優しい住まいを目指す意味で「優人舎」と名づける。